

省エネ計算必要図面リスト 基本計画時



※お見積りの際は、二重下線の図面PDFデータをお送りください。
 ※CADデータはdwgでお送りください（dxf、jwwでも可）。

分類	系統	図面	PDF	CAD	Excel	明示事項等	備考
全般	<input type="checkbox"/>	建物概要に関する情報	○			用途、所在地	
	<input type="checkbox"/>	工程表	○			全体スケジュールの把握	
室および外皮集計に必要な資料	意匠	<input type="checkbox"/>	用途・床面積に関する情報	○	○	用途区画、外周ライン	
		<input type="checkbox"/>	各階平面図（ピット図・屋根伏図含む）	○	○	方位、各階レイアウト	
		<input type="checkbox"/>	立面図	○	○	外装材の種類	
		<input type="checkbox"/>	断面図	○	○	階高	
		<input type="checkbox"/>	躯体に関する情報	○		コンクリート、ECP、ALC等の躯体仕様・厚み	
		<input type="checkbox"/>	断熱に関する情報	○		断熱の種類・厚み・熱伝導率	
		<input type="checkbox"/>	建具に関する情報	○		建具の配置・種類・寸法、ガラスの配置・種類・寸法・厚み、ガラス物性値 ※建具寸法は平面図または立面図にて確認することも可、ただし立面に出てこない入り組んだ部分の建具等は別途ご質問させていただくことがあります。	
		<input type="checkbox"/>	内装に関する情報	○		天高、ブラインドBOX（カーテン）有無	
		<input type="checkbox"/>	系統別空調範囲図	○		空調系統別のゾーニングが確認できる資料 ※空調エリアではなく、空調ゾーニングとなります。 室のゾーニングは設備の評価にも影響があるため、このゾーニングに修正が生じた場合は意匠関係の集計し直しとなりますのでご注意ください。	
		設備集計に必要な資料	空調・換気	<input type="checkbox"/>	空調機器リスト	○	○
<input type="checkbox"/>	換気機器リスト			○	○	給排気ファンの定格消費電力または定格出力、設計風量 全熱交換器の冷暖房全熱交換効率、定格消費電力、設計給排気量 ※上記情報の記載あるメーカー仕様書等でも代用可 接続先	
<input type="checkbox"/>	制御に関する情報			○		ファンおよびポンプの変流量・変流量制御は最小風量・流量比を記載 予熱時外気取り入れ停止機能有無、外気冷房制御有無、高効率電動機有無、送風量制御有無	
<input type="checkbox"/>	地域熱供給事業 効率根拠			○		熱源がDHCの際の受け入れ熱媒の効率（冷水・温水・蒸気）	
給湯	<input type="checkbox"/>	機器・給湯栓に関する情報	○	○	機器の定格加熱能力、定格消費電力、定格燃料消費量、接続先 ※ヒートポンプ給湯機は冬期高温加熱能力・消費電力とする必要があります 配管保温仕様（保温仕様A～D、裸管） 自動給湯栓有無、節湯B1有無		
	<input type="checkbox"/>	太陽熱給湯設備図	○		有効集熱面積、集熱面の方位角、集熱面の傾斜角		
照明	<input type="checkbox"/>	器具リスト	○		器具の定格消費電力		
	<input type="checkbox"/>	プロット図	○		各室（区画）毎の器具の種類・台数もしくはW/㎡		
	<input type="checkbox"/>	制御に関する情報	○		在室検知制御、明るさ検知制御、タイムスケジュール制御、初期照度補正機能 自動ブラインド制御		
昇降機	<input type="checkbox"/>	仕様書	○		号機名称、台数、定格速度、速度制御方式、積載荷重、定員、出入口形式 輸送能力係数		
効率化	<input type="checkbox"/>	太陽光発電設備図	○		名称、太陽電池の種類、アレイの設置方式、アレイのシステム容量 パネルの方位角、パネルの傾斜角 売電の有無（売電する場合は全量売電か余剰売電かを教えてください）		
	<input type="checkbox"/>	コージェネレーション設備図	○		名称、定格発電出力、台数 発電効率（負荷率1.00、負荷率0.75、負荷率0） 排熱効率（負荷率1.00、負荷率0.75、負荷率0） 排熱利用優先順位・利用系統（空調冷熱源、空調温熱源、給湯機器） 24時間運転の有無		

空冷ヒートポンプチャラーについて

省エネ計算（標準入力法）において「モジュール形」を採用するには、下記1)～4)の条件を全て満たす必要があり、採用できれば有利に働きます。

- 1) 「JIS B 8613 ウォータチリングユニット」に準拠し、ウォータチリングユニットの熱源側の熱交換の方式の種類が空冷式(空気熱源)であること。
- 2) 熱源機器1台に複数の圧縮機を搭載していること。
- 3) それぞれの圧縮機がインバータ駆動であること。
- 4) 外気温度20°C、負荷率25%(定格能力の25%能力)の冷却性能が下記の条件を満たすこと。

$$\text{COP}_{25} > \text{COP}_{100} \times 1.5$$

COP25 : 外気温度20°C、負荷率25%(定格能力の25%能力)の時の性能(「JRA4062-2010 熱源機器の期間成績係数」で規定された負荷率25%時の性能)

COP100 : 外気温度35°C、負荷率100%(定格能力)の時の性能

採用される場合、1)～3)については機器表にその旨を明記いただき、4)については根拠となる部分負荷特性資料をメーカーにご依頼ください。

尚、下記の型番の部分負荷特性資料は弊社に保存しておりますので、担当者にお申し付けください。

メーカー	型番	採用 可：○ 不可：×
ダイキン	UWXY(A)150FAY	○
ダイキン	UWXY(A)180FAY	○
ダイキン	UWXY85FAW	○
ダイキン	UWXY85FB	○
ダイキン	UWXY118FBW	○
日本キャリア	RUA-GP332HNM	×
日本キャリア	RUA-GP333FM	○
日本キャリア	RUA-SP334HNM(M)	○